

おおたの教育

今号の主な内容

第118号

大田区教育委員会広報

平成26年(2014年)
1月1日発行

- 1面 おおたサイエンススクール
- 2面 全国学力・学習状況調査
- 3面 伊豆高原学園の再整備
- 4面 Oh!!盛祭のご案内

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 大田区蒲田五丁目13番14号 TEL.03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

科学が大好きな子どもたちを育てています

～清水窪小学校 おおたサイエンススクール～



清水窪小学校は、平成23年度から平成27年度まで、おおたサイエンススクールとして、東京工業大学の教授等からのアドバイスを活かしながら、教員の指導力の向上を図り、理科好きな子どもを育てる教育を行っています。また、平成25年度より、文部科学省教育課程特例校として、サイエンスコミュニケーション科を設置し、特色ある教育実践を行っています。

サイエンスコミュニケーション科では、科学に親しむことを通じて、以下のように主体的にコミュニケーションを図ろうとする能力や態度を育むことを目標としています。

- ①自然の事物・現象や科学者の取り組みなどについて興味・関心をもつこと
- ②科学的に考え操作するなど科学的にかかわる力を養うこと

③科学のおもしろさや規則性を発見し、活用する力を養うこと

具体的な内容としては、例えば、ものづくり体験や栽培飼育活動を行うことにより、児童の科学に対する興味・関心を高める活動を行っています。また、東京工業大学の研究室を訪問して、最先端の研究を見学したり、自分が取り組んだ活動について、ICTを活用して表現するなどの活動も行っています。

さらに、大森第六中学校区として、小池小学校、赤松小学校とともに、小中一貫合同研修として授業研究会等を実施し、一貫性のある学習指導、一貫した生活指導を進めています。そのほか、部活動体験や洗足池自然講習会などの活動を通じて、児童・生徒の交流を推進しています。



清水窪小学校の授業を紹介します



研究室訪問

4年生が東京工業大学の研究室を訪問しました。E E 1棟(環境エネルギーイノベーション棟)を見学し、太陽光パネルを見学したり、蓄電池の仕組み、地震制御ブレースなどについて学びました。また、3年生が訪問した際には、コオリミズについて学習をしました。



上野動物園でゾウの学習(1、2年生)



国立天文台を見学(5、6年生)

SC見学

SC=サイエンスコミュニケーション



宇宙航空研究開発機構(JAXA)を見学(5、6年生)

東京工業大学教授による特別授業

5年生が東京工業大学を訪問し、齋藤義夫教授による特別授業を受けました。トコトコ動くおもちゃを組み立てたり、レーザー加工機の見学をしました。



プログラミングの授業



全学年でプログラミングの授業を行っています。東京工業大学の大学院生が講師となり、ゲーム作りなどを通してプログラミングの基本を学んでいます。



清水窪小学校
上野研二校長



大森第六中学校
税所要章校長



東京工業大学
鈴木正昭教授

本校の子どもたちは、理科や生活科、サイエンスコミュニケーション科をはじめ、学ぶこと・学校で生活することに「好き」「楽しい」「多くのことを体験できる」という共通する意識をもっています。私たちの役割は、子どもたちが自ら課題をもち、自ら目標をもって取り組むように彼らの「心に火をつける」ことにあります。心に火をつけた子どもたちは、何となく既知を基に新たな未知に取り組み、子どもたち自身が自己を超えようとしています。自分を越えた子どもたちは、今日の学びは楽しかったと明日の学校に期待をもち帰宅します。そこには、「知」のつながり、「社会」とのつながり、「未来」へのつながりがはっきりと見えます。自然や科学、人々と豊かにかかわり、科学的思考力、コミュニケーション力を発揮して、共に学び、共に生きる子どもたちに育つことを期待しています。

大森第六中学校は、清水窪小学校、小池小学校、赤松小学校と小中一貫教育を推進しています。生活指導スタンダードの作成、生徒会と児童会の交流、部活動体験、合同ボランティアなど、様々な活動を行っています。中心になるのは、9つの分科会に教員全員が所属しての授業改善の取組です。このうち、理科分科会は、「系統性を意識したスムーズな接続」がテーマです。昨年度は、清水窪小学校4年生の授業でT、T、(ティームティーチング)として本校の教員が高温で食塩を融解する演示実験を行うなど、毎年小中の教員と一緒に研究授業を実施しています。また、サイエンスコミュニケーションの公開授業や研究会には、本校の教員も積極的に参加しています。小中一貫して、科学の大好きな子どもを育てていくために、さらに研修を深めていきます。

小学生の皆さんは皆「理科が好き」と言ってくれますが、中・高と進学するにつれて理科離れは深刻で、高校生の物理の履修率にいたっては20%程度に低下しています。科学が直面する多くの自然現象の基礎は物理学なので、科学技術を創造するために物理学は必須です。私たちは、自然現象や日常の科学技術に「何故?」と感じて興味を持って、一歩進んだ科学大好きな子どもを育てたいと思っています。三つ子の魂百までと言いますが、東工大の多くの教員が、小学校時代の科学の話や面白い体験を良く覚えていて、これが理科系に進学する推進力になったと言います。小学校の様々な理科体験が理科離れを食い止められると信じています。これは東工大が優秀な学生を獲得する道ですし、ひいては科学技術立国日本の再生につながるモデル事業であると考えて多くの教員が協力してくれています。

清水窪小学校では、平成26年4月の新入学児童を募集しています。詳しくは、右記ホームページをご覧ください。

問合先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

ホームページ http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku/gakukyou/shimizukubo_science.html



平成25年度

全国学力・学習状況調査の結果から

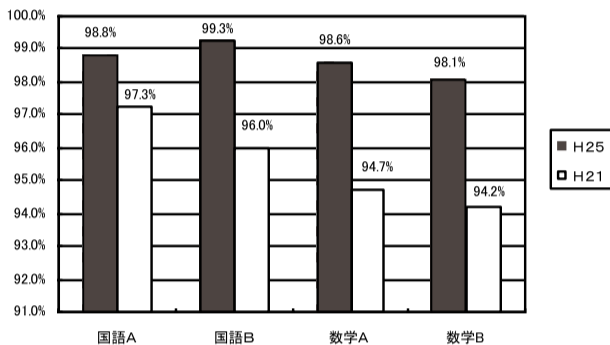
平成25年4月に小学校6年生と中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。本調査は、児童・生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証しその改善を図るとともに、児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを主な目的として実施しています。

結果は右表のとおりです。小学校では、国語「A知識」、「B活用」算数「A知識」、「B活用」のいずれの領域も全国並びに東京都の平均正答率を上回っています。中学校においては、国語・数学ともに全国並びに東京都の平均にあと一步と迫っており、前回すべての学校が実施した平成21年度（平成22～24年度は抽出校のみの実施）の結果に比べ、

いずれも上昇しています。

また、意識調査とテスト結果の相関をみると、家庭学習の習慣はもちろん、「朝早く起きる」「朝食を食べる」など生活習慣が良好な子ども

全国学力学習状況調査 全国平均との比較 (中学校)



の正答率が、そうでない子どもの正答率より大変高いという結果が出ています。

この結果をもとに、各学校では、学習意欲を高める取組を推進するとともに、家庭と連携を図りながら「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される基本的な生活習慣の確立を推進していきます。

【平均正答率(%)】 小学校(6年生) 【平均正答率(%)】 中学校(3年生)

	大田区	東京都	全国
国語A(主として知識)	68.3	64.8	62.7
国語B(主として活用)	52.4	52.1	49.4
算数A(主として知識)	78.6	78.4	77.2
算数B(主として活用)	60.9	60.8	58.4

	大田区	東京都	全国
国語A(主として知識)	75.5	77.3	76.4
国語B(主として活用)	66.9	69.3	67.4
数学A(主として知識)	62.8	65.2	63.7
数学B(主として活用)	40.7	43.2	41.5

【意識調査】朝食を食べていますか

	小学校(6学年)				中学校(3学年)			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
している	70	54.3	80	62.9	77.1	68.1	65	42.9
どちらかといえばしている	58.9	40.8	70.9	49.4	69.4	61	55.1	32.5
どちらかといえばしていない	53.5	37.5	66.7	43.4	67.7	54.8	50.7	28.9
していない	44.4	25	57	37.4	57.8	49.2	41.4	21.9

【問合せ先】 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

新たな5か年計画を 検討しています

第一回大田区教育懇談会の様子▶



平成21年6月に策定したおおた教育振興プランは、平成25年度をもって5か年の計画期間を終了します。この間、このプランに基づき教育施策に取り組むことにより、基礎学力の定着や不登校率の低下、地域力を活用した学校支援地域本部の立ち上げなど、着実な成果を上げています。

現在、平成26年度からの5年間の新しい計画となる改訂版の策定作業に取り組んでいます。今後取り組む施策や課題を明確にするために、現プラ

【問合せ先】 教育総務課経営計画担当 TEL 5744-1423 FAX 5744-1535

【ホームページ】 <http://www.cty.ota.tokyo.jp/kyouiku/kyouikuseisaku/kondankai/index.html>

ンの検証、全教員に対するアンケートを実施するとともに、大田区の教育の現状を分析しています。

また、大田区の教育に関して広く意見を聴くために、学識経験者、各団体の代表者と公募で選ばれた区民による、委員18名からなる大田区教育懇談会を設置しました。懇談会には、学識経験者の立場から玉川大学客員教授宮島雄一氏と帝京大学講師池田忠氏にご参加いただいています。

これまで、9月、12月の2回にわたり懇談会を開催し、その中では、子どもたちの現状、PTAのあり方、地域と学校との連携、グローバル人材の育成など、さまざまなご意見をいただきました。懇談会の記録及び資料はホームページにて公開しています。

未来を担う子どもたちを育て、区民一人ひとりが、生きがいと誇りを持って暮らせるまちづくりに寄与できるよう、今後も改訂版の策定作業に取り組んでいきます。



スポーツ祭東京2013が開催されました



9月28日から東京を舞台に開催された「スポーツ祭東京2013」。大田区では、10月4日から京浜島つばさ公園前の特設カヌー競技場で、4日間にわたりカヌースプリント競技の熱戦が繰り広げられました。国内トップレベルの選手による迫力あるレースに、会場は大きな声援に包まれました。大会準備から本番に至るまで、区内高校生や区民ボランティアの方々をはじめ、多くの皆様にご協力・ご声援をいただきました。

青梅市で行われたカヌースラローム競技、カヌーワイルドウォーター競技を合わせたカヌー競技の成績では、東京都は総合で19位、女子は9位でした。会場には、区内各児童館で小学生たちが描いた応援のぼり約100本が風にたなびき、区内中学生が育てた花が飾られ、大勢の観客をもてなしました。また、区内高校生ボランティアは、カヌー艇の運搬、

表彰式の司会やプラカード持ち等で活躍しました。

一方、9月に行われた「デモンストレーションとしてのスポーツ行事」は、台風18号の影響により、残念ながら「ゲートボール」が中止となりましたが、他3競技（ハング・パラグライディング、ドッジボール、ユニバーサル駅伝）は多くの皆さまの参加を得て滞りなく終了しました。中でも、「ドッジボール」では、区内の「道塚ドリームウィングス」が見事優勝し、大いに盛り上がりました。

なお、マスコットキャラクター「ゆりーと」は、大会終了後「スポーツ推進大使」として東京都全体のスポーツ振興のために活躍しています！今後もよろしくお祈りします！

【問合せ先】 社会教育課国体担当 TEL 5744-1441 FAX 5744-1539

ものづくり教育・学習フォーラムを開催します

今回で第12回を迎える「ものづくり教育・学習フォーラム」は、大田区の小・中学校から大学、各企業・団体までが協力して開催する一大イベントです。

昨年度は、受付時間の前から順番を待つ長い列ができ、約3,500名の来場者でにぎわいました。今年も多くの皆様の御来場をお待ちしています。

開催日時 平成26年1月18日(土) 9:00~16:00
会場 大田区産業プラザP i O (南蒲田1-20-20)
ものづくり教育・学習フォーラムのねらい

- 小・中学生の発表、製作体験等をとおり、ものづくりへの関心を高める。
- ものづくりの高い技術を身近に感じ、地域への愛着や誇りをもたせる。
- 将来のものづくりにかかわる人材の育成を図る。

学習発表

区内小・中学校によるものづくり体験や職場体験のステージ発表、各学校で製作した作品の展示発表、区内中学校代表生徒によるものづくり競技会(技術・家庭科 技能コンテスト)を行います。

ものづくり体験

区内の協力団体・企業等が体験ブースを開き、その場でものづくりができるなど、楽しい体験が盛りだくさんです。



問合せ 指導課指導主事 **TEL** 5744-1435 **FAX** 5744-1665

中学生職場体験

大田区における中学生職場体験は、生徒が自立した社会人となるための勤労観、職業観を養うこと、地域社会の一員としての自覚を高め、生きる力を引き出すことを目的としています。地域の商店や事業所の御協力をいただきながら、平成25年度は、全ての区立中学校の第2学年の生徒が3日間以上の職場体験を実施しています。

生徒の感想文から

私は3日間、パソコン関係の会社で体験させて頂きました。最も印象に残っているのは、電話対応です。それまで会ったこともない方から必要な情報を聞き取り、それを別のの人に伝えるという作業はとても難しく、職場の方に沢山迷惑をかけてしまったように思います。しかし、この作業は将来どのような仕事についても経験するでしょうし、初めに比べると少しずつ慣れていったように感じました。



社長さんがおっしゃっていたことがあります。それは「職場体験は社会の一員の入り口だ」ということです。私は、本当に、その言葉のとおりだと思いました。私たちは、職場体験を通して社会に入っていく入り口に立つ、ということを経験できたのではないかと思います。

私が職場体験をさせて頂いた「図書館」という場所は、予想以上に大変なところでした。本を運ぶ作業で、重い荷物を持つ機会が多く、立ったりしゃがんだりすることが大変でした。



このように書くと、この職場だけが大変なようですが、それは他のどの職場でも同じなのだと思います。3日間の職場体験を通して、自分が今まで「社会に出て働く」ということをいかに軽んじていたかがわかりました。たった6時間働いて疲れて、それでもまだ働いている職場の方たちを見て、「働くって、とても大変なことなんだ」と、今更ながら気付けた気がします。

この体験を忘れず、今後「働く」「仕事をする」という場面でいかしていきたいです。

問合せ 指導課指導主事 **TEL** 5744-1435 **FAX** 5744-1665

伊豆高原学園の再整備

～平成27年4月オープン(予定)～ 区民の方も宿泊できます

伊豆高原学園の建設工事を進めています

伊豆高原学園(静岡県伊東市八幡野)は、平成27年4月オープンを目指して、平成25年8月から建設工事を進めています。

区民の方の宿泊利用も可能な施設になります

学校が使用しない期間(金、土、日曜や夏休み期間、年末年始、12月～4月中旬など)は、区民の方も宿泊が可能です。旅行やサークル活動など幅広くご利用いただけます。

新しい伊豆高原学園の特徴

- 豊かな自然環境
富士箱根伊豆国立公園内にあり、豊かな自然環境。
- 区内からの好アクセス
蒲田駅→伊豆高原駅(特急で約2時間、駅から徒歩8分)
- バリアフリーに配慮した建物
 - ・施設間の移動経路はエレベーターやスロープにより段差を解消。
 - ・スロープ付きの温泉を設置。
 - ・バリアフリー室を設置。
- 3タイプの宿泊室

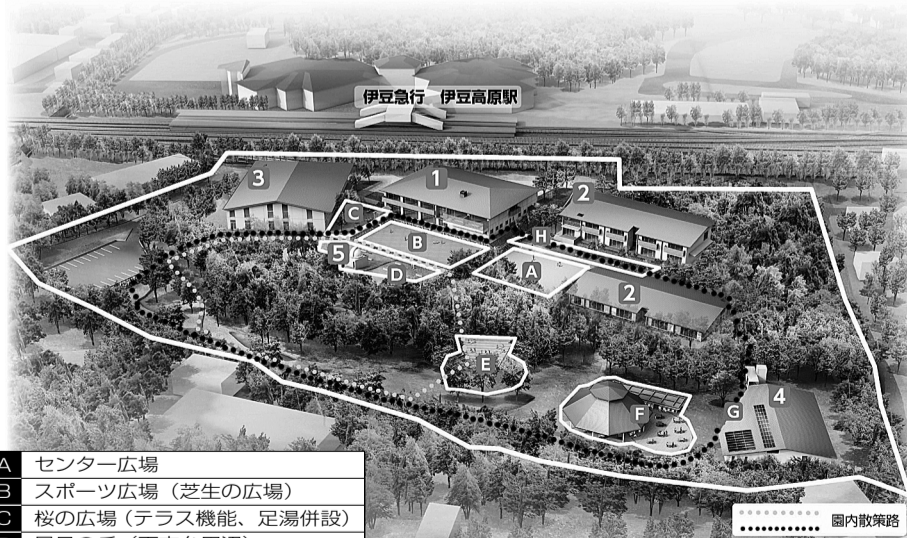
工事現場の様子(管理棟付近)

平成25年11月現在



※工事の様子は区のホームページからご覧いただけます。

新しい伊豆高原学園のイメージ



- A センター広場
- B スポーツ広場(芝生の広場)
- C 桜の広場(テラス機能、足湯併設)
- D 星見の丘(天文台周辺)
- E 集いの広場(キャンプファイア場)
- F 食の広場(飯ごう炊さん場、屋根付き広場)
- G 体験広場(創作棟軒下)
- H 散策のプロムナード

- 1 管理棟(食堂・浴室・ラウンジ等)
- 2 宿泊棟A棟(2階建て)・B棟(平屋)
- 3 ビジターセンター(展示スペース、体育室等)
- 4 創作棟(図工室・調理室)
- 5 天文台

児童宿泊室	引率室	バリアフリー室
和室タイプ 定員22名 12室設置	洋式タイプ 定員3名 12室設置	洋式タイプ 定員3名 3室設置

○さまざまな体験活動が可能な施設

天文台での星空観察や、創作棟でのクラフト作りなど、多彩な体験活動ができます。

問合せ 学務課校外施設整備担当 **TEL** 5744-1706 **FAX** 5744-1536

ホームページ <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku/gakukyou/izukougen>



Oh!! 盛祭を開催します

Oh!! 盛祭(おももりさい)は、Oh!! 盛祭実行委員会と大田区青少年委員会が主催するお祭り、大田区教育委員会が後援しています。

このお祭りは、青少年委員会のサポートのもと、大田区の若者たちが「青年実行委員」として実行委員会に加わり、主体的に企画・制作・運営に関わっています。

実行委員会は5月頃から毎月1回会議を開催し、内容を検討しています。日常では味わえない充実感や大きな達成感が得られるよう、若者のために発表や活躍の場を作っています。

今年度も下記の内容で実施します。ふるってご参加ください。

開催日時 平成26年3月9日(日) 10~16時
会場 大田文化の森
交通案内 JR京浜東北線大森駅西口 東急バス池上方面行き
 大田文化の森バス停下車徒歩約1分
 東急池上線池上駅 東急バス大森方面
 大田文化の森バス停下車徒歩約1分

各コーナーの参加申込については、ホームページをご覧ください。(※既に申込期間を終了している場合もございます。)

ホームページ www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/chiki/seishounen/oomorisai.html



【昨年度の内容等】(今年度も現在企画中です。昨年度とは内容が変更する場合があります。)

たくさんの若者が大活躍。当日は様々なイベントが行われ盛況でした!

○ヤング☆ステージ

バンド・ダンスなど全17団体が出演。

日頃の練習の成果を発揮し、若者らしく元気なステージで盛り上げてくれました。

○中学生百人一首大会(教育長杯)

区立中学生による百人一首大会。個人戦105人、団体戦28団体が参加。

○クッキングinチャレンジ

東京誠心調理専門学校講師の指導による料理教室。

21人が参加し、イタリア料理に挑戦しました。

○盛森広場

ダブルダッチやダンスなどのパフォーマンス。青少年委員会がつくる模擬店の焼きそばも好評でした。

○その他

工学院のダンスパフォーマンス科による「ヒップホップダンス体験」や日本芸術専門学校による「アニメアフレコ体験」の他「展示コーナー」、「創作コーナー」を実施。



問合せ先 社会教育課青少年担当 **TEL** 5744-1223 **FAX** 5744-1539

大田区総合体育館で開催される 主な試合や大会のご案内

社会教育課が主管する大田区総合体育館は、「するスポーツ、みるスポーツ」を基本コンセプトに運営を行っています。区内の身近な会場でお楽しみください(観戦は有料になります)。

大田区総合体育館に関する問合せ先 社会教育課管理係 **TEL** 5744-1448

V・プレミアリーグ女子(バレーボールリーグ)

日時	内容
1月18日(土)	トヨタ車体クインシーズ vs JTマーヴェラス NECレッドロケッツ vs 岡山シーガルズ
1月19日(日)	岡山シーガルズ vs JTマーヴェラス NECレッドロケッツ vs トヨタ車体クインシーズ

問合せ先 東京都バレーボール協会 **TEL** 03-3984-3808

NBLナショナル・バスケットボール・リーグ(男子バスケットボールリーグ)

日時	内容
2月8日(土) 2月9日(日)	トヨタ自動車アルバルク東京 vs 三菱電機ダイヤモンドドルフィンズ名古屋
3月15日(土) 3月16日(日)	トヨタ自動車アルバルク東京 vs 熊本ヴォルターズ

問合せ先 トヨタエンタプライズ トヨタ自動車アルバルク東京ホームゲーム事務局 **TEL** 03-3237-1024

NBLナショナル・バスケットボール・リーグ(男子バスケットボールリーグ)

日時	内容
2月15日(土) 2月16日(日)	日立サンロッカーズ東京 vs アイシンシーホース三河

問合せ先 日立サンロッカーズ東京事務局 **TEL** 03-5467-8933

NBDLナショナル・バスケットボール・デベロップメント・リーグ(男子バスケットボールリーグ)

日時	内容
1月24日(金) 1月25日(土)	東京エクセレンス vs TGI・Dライズ
2月8日(土) 2月9日(日)	東京エクセレンス vs アイシン・エイ・ダブリュアレイオンズ安城

問合せ先 カルティベイティブ・スポーツクラブ **TEL** 03-6416-9090

日時	内容
2月15日(土) 2月16日(日)	大塚商会アルファーズ vs 豊田合成スコピオンズ

問合せ先 日立サンロッカーズ東京事務局 **TEL** 03-5467-8933

日時	内容
3月15日(土) 3月16日(日)	黒田電気ブリットスピリッツ vs 豊田合成スコピオンズ

問合せ先 トヨタエンタプライズ トヨタ自動車アルバルク東京ホームゲーム事務局 **TEL** 03-3237-1024

WJBLバスケットボール女子日本リーグ

日時	内容
2月1日(土)	羽田ヴィッキーズ vs 三菱電機コアラーズ
2月2日(日)	羽田ヴィッキーズ vs トヨタ紡績サンシャインラビッツ

問合せ先 羽田ヴィッキーズ女子バスケットボールクラブ事務局 **TEL** 03-6423-8834

川瀬巴水展を開催しています



現在開催中の特別展「川瀬巴水-生誕130年記念-」は、明治16(1883)年5月18日、現港区新橋に生まれた川瀬巴水をさまざまな視点から紹介する展示会です。

特別展中期では、芳壽堂と渡邊木版畫舗の2つの版元から出版された大田区の風景「森ヶ崎」を中心に、『東海道風景選集』

や富士山を描いた作品、見る機会の少ない『人形画集』を含む、巴水が「一番面白い時代でもあった」と語った馬込時代、現大田区南馬込三丁目に居住していた頃の作品約230点を展示しています。

後期は、洗足池や本門寺を描いた作品と共に、無形文化財技術保存記録木版画「増上寺之雪」、絶筆「平泉金色堂」など、現大田区上池台二丁目に暮らした戦後の作品を約150点紹介します。

展示では、木版画作品だけでなく、写生帖、原画、試摺、今回初公開の落款(雅号印)など、見る機会の少ない資料も含めて紹介します。巴水の版画芸術を多角的にお楽しみいただければ幸いです。

問合せ先 郷土博物館 **TEL** 3777-1070 **FAX** 3777-1283

表彰

□文化部門
第61回東京都統計グラフコンクール
<入選>
大森第四小学校6年 江守瑞季、島崎まひと、岡部雅、磯貝萌

<佳作>
矢口東小学校6年 野本弥宙

平成25年度東京都明るい選挙ポスターコンクール
<入選>
馬込中学校2年 藤中果歩

教育長及び教育委員会委員長等の就任について



委員長
鈴木 清子



委員長職務代理者
尾形 威



委員
芳賀 淳



委員
横川 敏男



委員
藤崎 雄三



教育長
津村 正純

第11回教育委員会定例会にて、任期満了に伴う委員長選挙及び委員長職務代理者選挙が行われ、鈴木清子委員が委員長に、尾形威委員が委員長職務代理者に選任されました。また清水繁教育長が任期満了により退任し、平成25年12月22日付けで津村正純教育委員が任命され、24日付けで教育長に任命されました。同じく平成25年12月22日付けで横川敏男委員と藤崎雄三委員が再任されました。これにより、教育委員会の構成は左のとおりです。

教育委員会定例会の開催予定日

□日時 平成26年1月22日(水)
平成26年2月19日(水)
平成26年3月27日(木)
□時間 午後2時から(1月22日のみ3時から)
□場所 本庁舎6階教育委員会室
※予定が変更になる場合もあります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記までご確認ください。

問合せ先 教育総務課庶務係
TEL 5744-1422
FAX 5744-1535

教育委員会の主な議題

□平成25年第10回定例会
・平成25年度 第五次補正予算要求原案について ほか2件